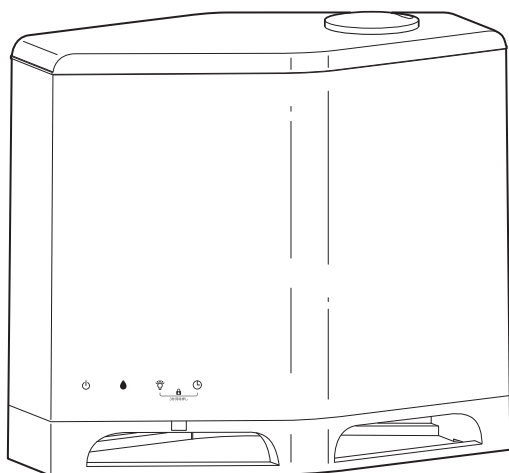


ハイブリッド式加湿器 KHM-4022

取扱説明書 (保証書付)

ご使用前に必ずお読みください。



目次

| | |
|---------------------|-------|
| 安全上のご注意 | 1～3 |
| ご使用にあたってのお願い | 4 |
| 適した設置場所 | 5 |
| 知っておいていただきたいこと | 6 |
| 各部のなまえ | 7～8 |
| リモコンについて | 9 |
| ご使用前の準備 (タンクに水を入れる) | 10～11 |
| 正しい使いかた | 12～15 |
| お手入れのしかた | 16～18 |
| 保管のしかた | 18 |
| 修理を依頼される前に | 19 |
| 仕様 | 20 |
| 消耗部品について | 20 |
| アフターサービスについて | 21 |
| お客様の個人情報のお取り扱いについて | 21 |
| 保証・無料修理規定 | 22 |
| 保証書 | 23 |
| お客様相談窓口 | 23 |

このたびは、コイズミ ハイブリッド式加湿器をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。正しくご使用いただくために、ご使用前に必ずこの「取扱説明書」をよくお読みください。なお、この取扱説明書には保証書が付いています。


お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに大切に保管してください。


●特に1～5ページの「安全上のご注意」と「ご使用にあたってのお願い」、「適した設置場所」を必ずお読みください。

安全上のご注意



*ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

*ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の人への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

 **警告** 誤った取り扱いをしたときに、死亡または重傷を負う可能性があるもの


 **注意** 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負ったり、物的損害の可能性のあるもの

絵表示の例

| | | | |
|--|---|--|---|
|  は、してはいけない 「禁止」の内容です |  一般的な禁止 |  分解禁止 |  水ぬれ禁止 |
| |  ぬれ手禁止 |  接触禁止 | |
|  は、必ず実行していただく 「強制」の内容です |  必ず行う |  電源プラグを抜く | |

※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

警告

 電源コードを傷付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねて使用したりしない。また、重い物を載せたり、はさみ込んだり、高温部に近づけたりしない。

電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

タンクや水槽部のお手入れに塩素系・酸性タイプの洗浄剤は使用しない。

タンクの割れや故障、残った洗浄剤による有毒ガス発生の原因となります。

乳幼児の手の届く範囲で使用しない。

感電やけがの原因となります。

AC100V以外では使用しない。(日本国内専用)

火災・感電の原因となります。

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みが緩いときは使用しない。

感電・ショート・発火の原因となります。

送風口や吸気口、吹出口、本体のすき間にピンや針金などの異物を入れない。

故障や感電、けがの原因となります。

警告



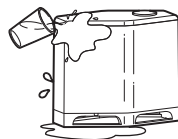
改造はしない。また、修理技術者以外の人は、分解したり修理をしない。

火災・感電・けがの原因となります。修理はお買い上げの販売店または、小泉成器株式会社「修理センター」にご相談ください。



水につけたり、水をかけたりしない。

ショート・感電・発火の原因となります。



ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。

感電・ショート・発火の原因となります。



電源プラグは清潔にする。刃および刃の取付面にほこりが付着している場合は拭き取る。

ショート・火災の原因となります。

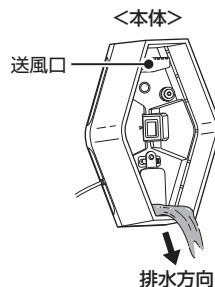
乳幼児が誤って電源プラグをなめないように注意する。

感電やけがの原因となります。

必ず排水方向から排水する。

排水方向を誤ると、本体内部の電気部品に水が入り、火災・感電・ショートの原因となります。

- ・排水時、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ・排水時、送風口から水が入らないよう注意してください。
- ・排水のしかたは15ページを参照してください。



お手入れの際は電源を切って電源プラグをコンセントから抜く。

感電やけがの原因となります。

異常時（こげくさい臭いなど）は、運転を停止して電源プラグをコンセントから抜く。

そのまま運転を続けると火災や感電の原因となります。運転を停止してお買い上げの販売店または、小泉成器株式会社「修理センター」にご相談ください。

⚠ 注意



上蓋やタンクをはずしたまま運転しない。

水が飛び散り床をぬらしたり、故障の原因となります。

アロマオイルや香水をタンクや水槽部に入れない。

故障や水漏れの原因となります。

不安定な場所には置かない。

水がこぼれて床をぬらしたり、送風口から水が入り故障や水漏れの原因となります。

使用中は本体を持ち運ばない。

水がこぼれて床をぬらしたり、送風口から水が入り故障や水漏れの原因となります。

吹出口に指を入れない。

けがの原因となります。

直接水槽部に給水をしない。

ショートや感電、故障や水漏れの原因となります。

本体やタンクを落としたり、ぶつけたりしない。

本体やタンクにヒビが入るなどの破損をして水漏れなどの故障の原因となります。

リモコン用ボタン電池は加熱したり、分解したり、火や水の中に入れない。

ボタン電池の破損・液漏れにより、火災・けがの原因となります。

指定以外のリモコン用ボタン電池を使用しない。

ボタン電池の破裂・液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となります。



使用中は上蓋やタンクに手をふれない。

誤動作して、故障や水漏れ、変形の原因となります。

使用直後はヒーターに触れない。

やけどの原因となります。



使用时以外は、必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。

故障の原因となります。

電源プラグをコンセントから抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持って抜く。

ショート・感電・発火の原因となります。

移動するときは運転を停止し、タンクや水槽部の水を捨てる。

水がこぼれて家財などをぬらしたり、送風口に水が入り故障の原因となります。

タンクや水槽部は、常に清潔にする。

- ・タンクの水は毎日新しい水道水と入れ換えてください。
- ・ご使用にならないときは、タンクや水槽部に残った水を排水してください。
- ・タンクや水槽部は、定期的にお手入れしてください。汚れや水あかでカビや雑菌が繁殖すると、悪臭、および体質によりまれに、健康を害する原因となります。

リモコン用ボタン電池は乳幼児の手の届かないところに保管する。

万一飲み込んだ場合には直ちに医師にご相談ください。

長期間使用しないときはリモコン用ボタン電池を取り出しておく。

ボタン電池の液漏れで回路がショートし、火災・けが・汚損の原因となります。

ご使用にあたってのお願い

■故障などを防ぐために、必ずお守りください

※運転をはじめて約30分間は霧の出かたが弱く見えたり、安定しないことがあります。

使用前

●水道水を使用する

アロマオイル、香水、芳香剤、温水(40℃以上)、洗剤、化学薬品、酸性水、アルカリ水、ミネラルウォーター、井戸水は使用しないでください。

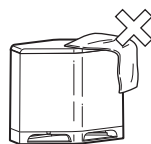
●本体水槽部に直接水を入れない

水が必要以上に供給され、霧が出なくなったり故障の原因となります。

使用中

●吹出口をふさがない

カーテンやタオルなどで吹出口をふさぐと、異常加熱で変形や故障の原因となります。



●本体やタンクを落としたり、ぶつけたり衝撃を与えない

本体やタンクにヒビが入るなどの破損をして水漏れの原因となります。

●上蓋やタンクをはずして使用したり、加湿以外の用途には使用しない

床をぬらしたり、故障やけがなどの原因となります。

●運転時はリモコンを上蓋の上や本体の近くに置かない

リモコンがぬれて、故障・破損の原因となります。

●使用中は上蓋やタンクに手を触れない

使用中、上蓋をはずしたり、タンクを動かすと、水が必要以上に供給され、霧が出なくなったり故障の原因となります。

誤って上記の内容を行った場合、本体水槽部に溜まっている水をすべて排水してから、もう一度セットしてください。

●加湿しすぎない

加湿しすぎると周囲をぬらしたり、故障の原因となります。

●凍結に注意する

凍結の恐れがあるときはタンクや水槽部の水を捨ててください。

凍結すると故障の原因となります。



使用後

●タンクや水槽部のお手入れをこまめに行う

お手入れをしないで使い続けると、水あかやごみなどで汚れ、性能が低下したりカビなどの繁殖や悪臭発生の原因となります。

●保管時は、排水してよく水分を拭き取る

水分が残ったまま長期間保管すると、水あかやごみなどで汚れ、性能が低下したりカビなどの繁殖や悪臭発生の原因となります。

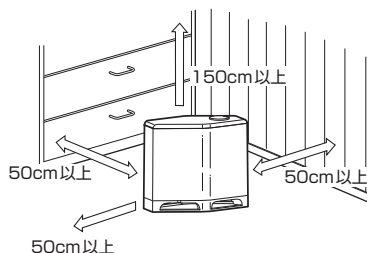
適した設置場所

本機は、「超音波式」と「加熱式（ヒーター）」を組み合わせたハイブリッド式の加湿器です。この方式の性質上、ご使用の環境（温度/湿度）条件により、霧に含まれる水分が周辺に付着することがあります。

設置の際、以下の注意をよくお読みになり正しくお使いください。

■適した設置場所

- 壁やカーテン、家具などから50cm以上、天井から150cm以上離して設置してください。
- エアコンの送風が吹出口に当たらない場所に設置してください。
床面をぬらす恐れがあります。
- 周辺に、吹出口から出る霧をさえぎる物や、湿気に弱い物がないことを確認してください。
- 安定した場所に水平に設置してください。

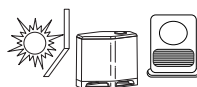


■次の場所では使用しないでください

- パソコンやテレビ、音響機器、精密機械（携帯電話など）の上や近く
機器に水分や「白粉」が付着して、故障の原因となります。
誤って倒したり、誤った使いかたで水漏れをしてぬれることがあります。
- 壁やカーテン、家具、ふすま、障子、ポスターなど、吹出口から出る霧が直接当たるところ、およびその近く
ぬれてシミになったり、霧に含まれる「白粉」が付着することがあります。
※白粉について
霧の蒸発に伴ない、機器の周辺に白い粒状のものが残ることがあります。これは、発生する霧（水道水）に含まれるカルシウムやマグネシウムなどのミネラル分です。有害なものではありませんが、テレビや家具などに付着することがあります。付着したときはやわらかい布などで早めに拭き取ってください。



- 直射日光が当たる場所や暖房機の上または近く
変形・変色したり、誤動作することがあります。



- 湿度の高いところ
周囲をぬらしたり故障の原因となります。



- 人がよく通るところ
ぶつかったり、電源コードに引っかかると、本体が倒れて水がこぼれたり故障の原因となります。



- カーペットやふとんなどの上
不安定な場所に置くと水がこぼれたり誤動作や故障の原因となります。
また、本体底面の吸気口が塞がれて霧が出にくくなったり、故障の原因となります。



- ベッド脇など就寝中に手が届く場所
誤って倒してしまい、周囲をぬらすことがあります。

知っておいていただきたいこと

●加湿方式について

- ・本機は、「超音波式」と「加熱式（ヒーター）」を組み合わせたハイブリッド式の加湿器です。
超音波の振動で水を細かな霧状にして噴霧します。
また、本体内部のヒーターで水を加熱するので、霧がより出やすくなります。また、水の中に含まれる菌繁殖の防止にもなります。
※ヒーターで加熱された霧が噴霧されますが、暖房器具のようにお部屋をあたためるものではありません。

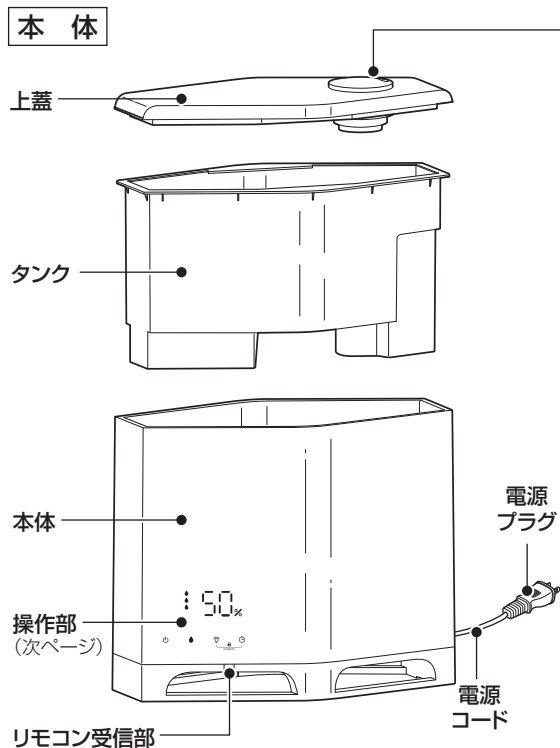
●湿度の表示について

- 本機には湿度センサーが搭載されています。
※急激な湿度変化や設置状況などにより、ご家庭の湿度計と本機が表示する湿度に差が出る場合があります。

●メモリー機能について

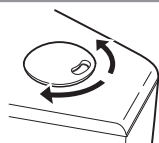
- 電源を切っても電源プラグをコンセントから抜かなければ、運転停止前の設定は記憶されています。

各部のなまえ

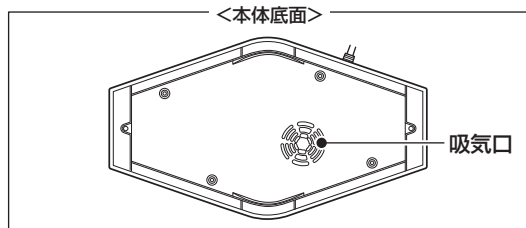
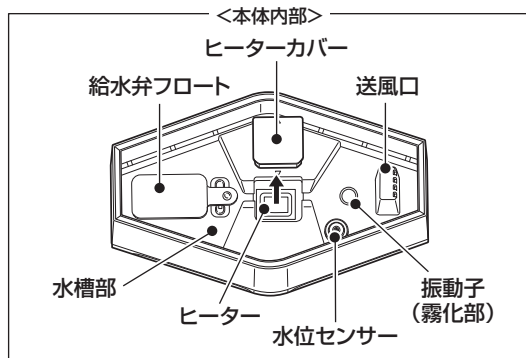
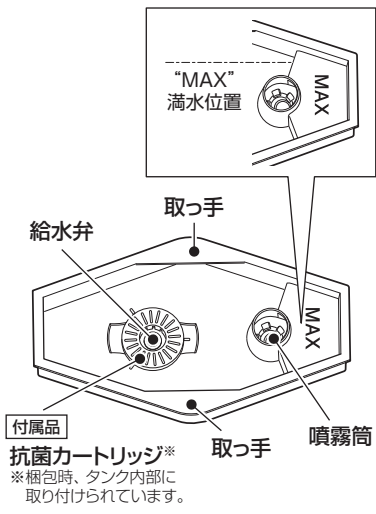


吹出口

霧の吹き出し方向を
変えることができます。



<タンク内部>

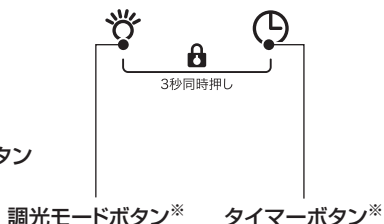
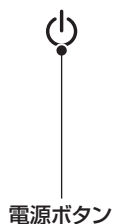
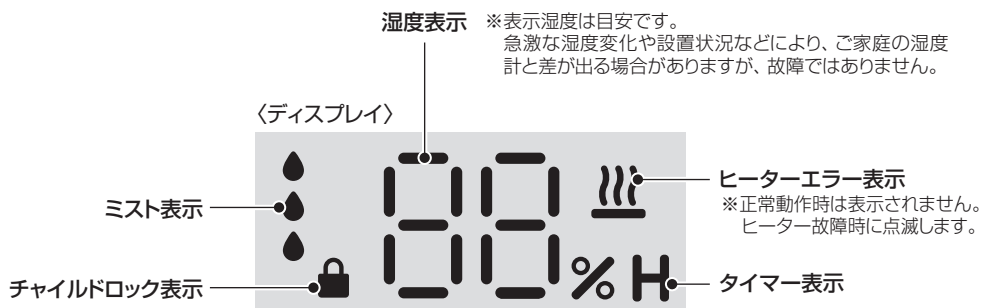


■抗菌カートリッジについて
抗菌カートリッジはタンクや水槽部内の
水を抗菌するものです。
抗菌カートリッジ内の抗菌粒に触れても
人体や動植物には無害です。

ご注意

- 乳幼児の手の届かない範囲でご使用ください。
- 抗菌カートリッジ内の抗菌粒を取り出さないでください。
- 抗菌粒を直接口に入れたり飲んだりしないでください。
- 抗菌効果の目安は使いはじめから約2年間です。
(ただし使用頻度により異なります。)

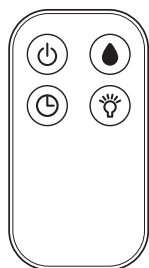
操作部



※調光モードボタンとタイマーボタンを同時に**3秒長押し**するとチャイルドロックを設定できます。

付属品

- リモコン



※ご使用前に絶縁シートを抜いてください。

- ボタン電池 × 1 個 (CR2025)



- 取扱説明書 (本書：保証書付)



リモコンについて

ご使用前に絶縁シートを引き抜いてください。

■リモコンの使いかた

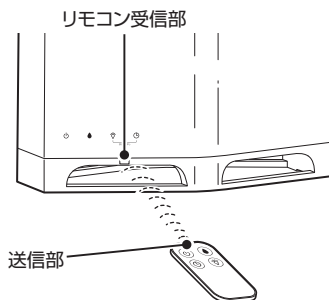
リモコンのボタンは本体の操作ボタンと同様に使用できます。

※チャイルドロックはリモコンで設定できません。

送信部を本体のリモコン受信部に向けて操作してください。

(使用可能範囲：本体から約3m・約25度)

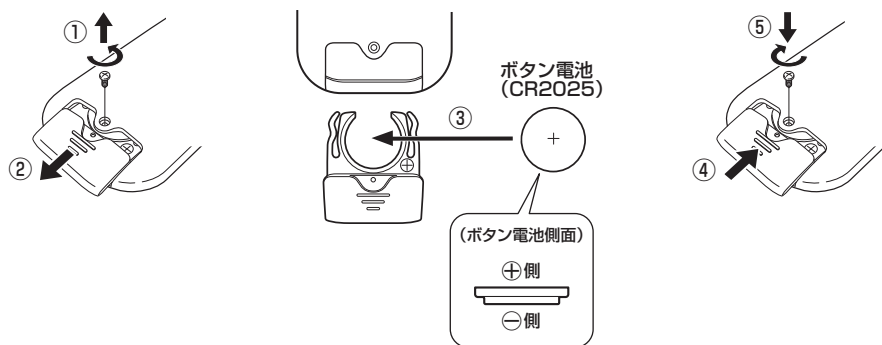
※リモコンと本体のリモコン受信部の間に障害物がないことを確認してください。



■ボタン電池の入れ替え

- ①リモコンの背面からネジを取りはずす。
- ②リモコンの背面の電池カバーを引き出す。
- ③ボタン電池 (CR2025) を⊕側を上にして電池カバーにセットする。
- ④電池カバーを閉める。
- ⑤ネジを取り付ける。

(リモコン背面)



ご注意

- ボタン電池の破損・液漏れ防止のために次のことをお守りください。
 - ・ 長期間使用しないときは、ボタン電池を取り出しておいてください。
 - ・ プラスとマイナスは正しく入れてください。
 - ・ 火や水の中への投入や、分解、加熱などはしないでください。

●リモコンのボタン電池の交換目安

ボタン電池が消耗してくると、ボタンを押しても反応しない、反応が遅いなどの現象が生じます。このようなときは新しいボタン電池と交換してください。

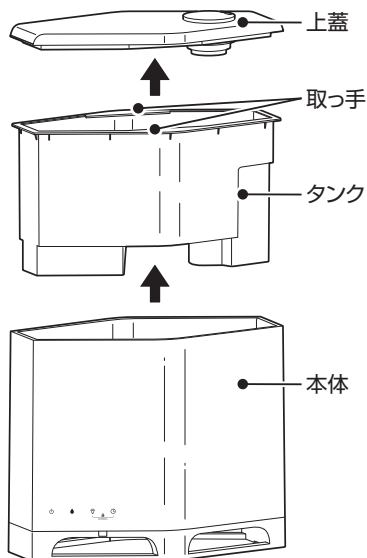
ご使用前の準備 (タンクに水を入れる)

1. 上蓋を本体からはずし、タンクを本体からはずします。

- ・タンク内側の取っ手を持って、垂直にはずしてください。

ご注意

- 再度給水する場合、上蓋やタンクを本体からはずすと、水滴がこぼれることがあります。タオルなどを準備し、本体や床がぬれないように注意してください。



2. やかんなどでタンクに水道水 (飲用) を入れます。

- ・“MAX”の表示面が満水位置となります。
“MAX”表示面より上に水を入れないでください。
水漏れや故障の原因となります。

ご注意

- 水道水 (飲用) 以外は使用しないでください。
アロマオイルや芳香剤、香水、温水 (40℃以上)、洗剤、化学薬品、酸性水、浄水器の水やミネラルウォーター、井戸水などは、絶対に入れないでください。
変形、故障、カビや雑菌の繁殖の原因となります。

お願い

- タンクに水道水を入れたとき、抗菌カートリッジ内に空気が残り浮き上がる場合があります。その場合は抗菌カートリッジを手で沈めてください。



“MAX”満水位置

“MAX”の表示面が満水位置。“MAX”表示面より上に水を入れない。

●加湿運転時間について

満水で約8時間の連続加湿運転ができます。(強運転/室内温度が20℃の場合)

ご使用前の準備 (タンクに水を入れる)

3. タンクを本体に取り付けます。

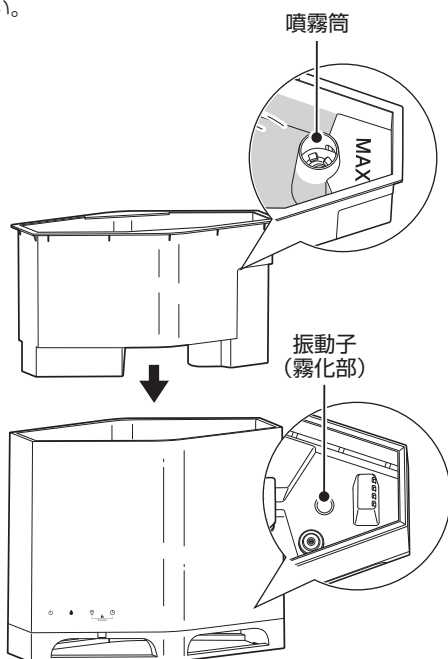
- ・ タンクの噴霧筒側が本体の振動子側に合うように取り付けてください。
- ・ 水が溢れないよう注意して取り付けてください。

ご注意

- タンク取り付けの際は、タンクの抜き差しを繰り返したりしないでください。本体の水槽部の水位が上昇し、霧が出なくなったり、水漏れや故障の原因となります。

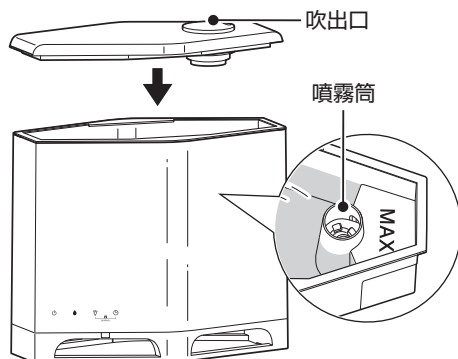
お知らせ

- 水を入れたタンクを本体に取り付けると、水槽部に水が流れ込み、水位センサーで水が検知されると運転が可能となります。タンク取付直後、水位センサーまで水が到達していない場合、電源ボタンを押しても運転を開始しないことがあります。タンク取付直後は約30秒後に電源ボタンを押してください。



4. 上蓋を本体に取り付けます。

- ・ 上蓋の吹出口がタンクの噴霧筒側に合うように取り付けてください。



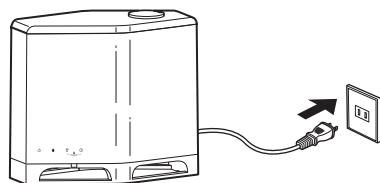
正しい使いかた

■ 運転する

- ・ タンクに水を入れるまでは運転しないでください。
- ・ 運転前に、タンク・上蓋・吹出口が本体に確実に取り付けられていることを確認してください。

1. 電源プラグをコンセントにしっかり差し込みます。

- ・ 本体を傾けたり、倒したりしないでください。
水漏れや故障の原因となります。

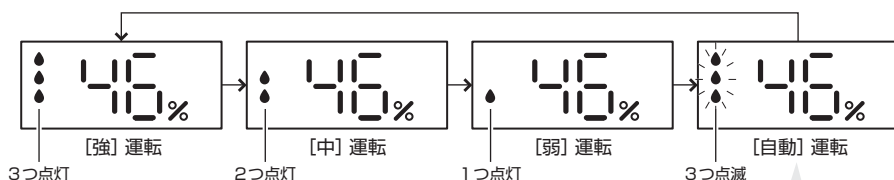


2. 電源ボタン (⏻) を押します。

- ・ 「ピッ」と鳴りディスプレイに現在の湿度が表示されます。

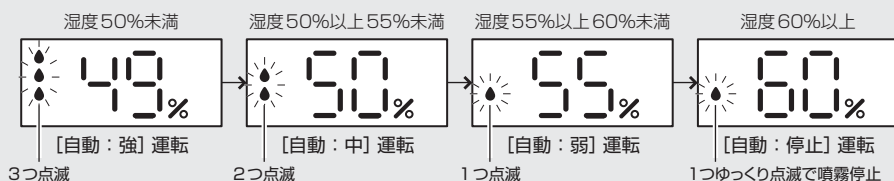
3. ミストボタン (💧) でお好みの運転を選択します。

- ・ ミストボタンを押すたびに、「ピッ」と鳴り運転が以下のように切り替わります。

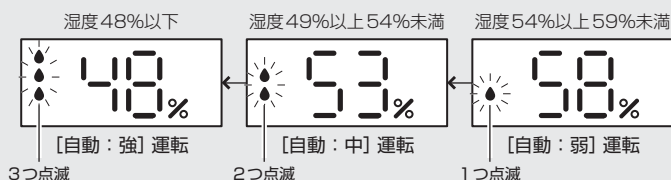


[自動] 運転に設定すると、湿度に応じて自動で以下のように運転します。

湿度上昇時の動作



湿度下降時の動作



※ [自動] 運転で湿度が60%に達すると、霧の噴霧を自動停止します。

自動停止時 ([自動：停止] 運転) は本体内部の湿度センサーで湿度を検知するために、本体内部のファンは停止せず、吹出口からの送風は継続します。

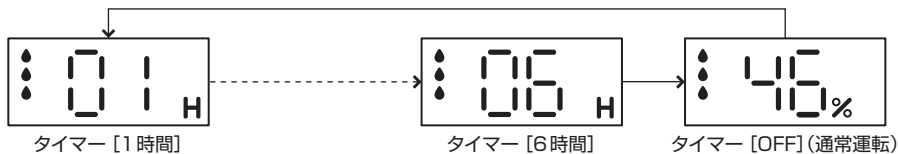
湿度が59%未満になると、自動で霧の噴霧を再開します。

正しい使いかた

タイマーを設定する

タイマーボタン (Ⓜ) を押して、タイマー時間を設定します。
設定したタイマー時間で自動停止します。

- ・ タイマーボタンを押すとタイマー表示 "H" が点灯し、押すたびに、「ピッ」と鳴りタイマー設定が1時間単位で切り替わります。6時間までタイマー設定ができます。
- ・ 6時間設定 "6H" でもう一度タイマーボタンを押すと、タイマー表示 "H" が消灯し、タイマー設定が解除されます。

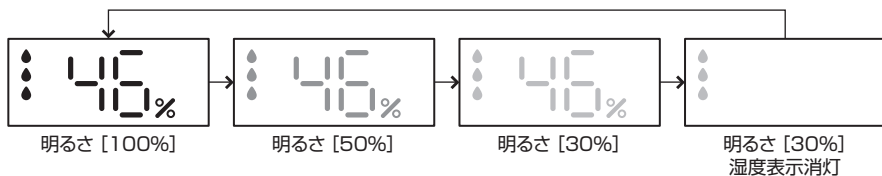


- ・ タイマー設定後は湿度表示と残りの運転時間を30秒ごとに交互に表示します。

ディスプレイの明るさを調節する

調光モードボタン (☀) で好みの明るさを選択します。

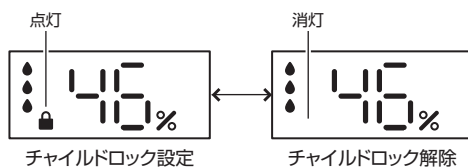
- ・ 調光モードボタンを押すたびに、「ピッ」と鳴りディスプレイが以下のように切り替わります。
- ・ “明るさ [30%] 湿度表示消灯” 設定時に水が無くなった場合、ブザー音は鳴らなくなります。



チャイルドロックを設定する

調光モードボタン (☀) とタイマーボタン (🕒) を同時に3秒長押しします。

- ・「ピッ」と鳴りチャイルドロック表示 (🔒) が点灯し、チャイルドロック設定になります。チャイルドロック設定時は、運転時の電源ボタンでの運転停止以外の操作ができなくなります。
- ・再度調光モードボタンとタイマーボタンを同時に3秒長押しすると、チャイルドロック表示 (🔒) が消灯し、チャイルドロックが解除されます。



※リモコンではチャイルドロックの設定・解除はできません。

■運転を停止する

1. 電源ボタン (🔌) を押します。
 - ・ディスプレイが消灯し運転を停止します。
2. 電源プラグをコンセントから抜きます。

正しい使いかた

■運転中に水がなくなったら

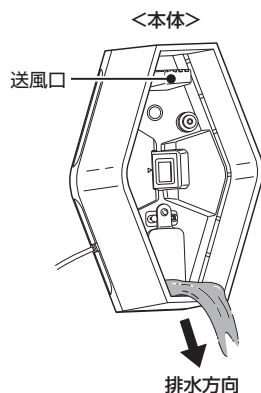
水がなくなると、ブザーが「ピッピッピッ」と4回鳴って湿度表示が点滅し、自動で運転を停止します。

- 続けてご使用になる場合は、10～11ページの「ご使用前の準備（タンクに水を入れる）」を参照し、タンクに給水してください。給水後、電源ボタンを押して、一度電源を切り、再度電源ボタンを押して運転を開始してください。
- 水がなくなる直前に霧の吹き出しが不安定になることがありますが故障ではありません。

■排水のしかた

1. 電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。
2. 上蓋を本体からはずし、タンクを本体からはずします。
 - ・タンクは取っ手を持って、垂直にはずしてください。
3. タンクの水を排水します。
4. 図のように本体を排水方向にかたむけて排水します。

- ・排水方向を誤ると、送風口から本体内部に水が入り、ショートや故障の原因となります。
- ・排水後、本体に付着した水分は柔らかい布で拭き取ってください。



⚠ 警告

- 排水時は必ず電源プラグをコンセントから抜く。
ショートや感電の原因となります。
- 必ず排水方向から排水する。
排水方向を誤ると、送風口から本体内部に水が入り、ショートや故障の原因となります。
- 送風口から水を入れない。
排水時など送風口から水が入らないように十分注意してください。送風口から本体内部に水が入り、ショートや故障の原因となります。

お手入れのしかた

- ご使用にならないときは、タンクや水槽部の水を排水してください。
- 使用後、ヒーターは熱くなっていますので、冷めてからお手入れしてください。

⚠ 警告

- お手入れの際は、必ず電源を切って電源プラグをコンセントから抜いてください。
ショートや故障の原因となります。

⚠ 注意

- お手入れの際は、シンナー、ベンジン、ミガキ粉、たわしなどを使用しないでください。
キズや変色、破損の原因となります。

■本体・水槽部

水を含ませた柔らかい布で汚れを拭き取ります。

- ・水槽部は1週間に1～2回以上の頻度でお手入れしてください。

■タンク

水洗いし、柔らかい布で拭き取ります。

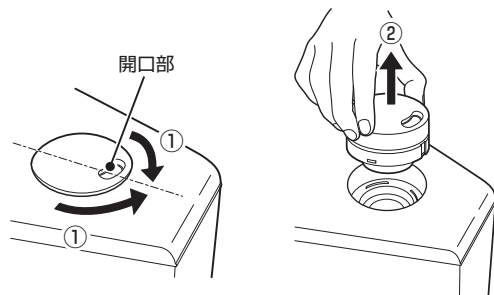
- ・タンクの洗浄は毎日行ってください。
- ・タンクを落としたり、ぶつけたりしないように注意してください。
- ・温水(40℃以上)は使用しないでください。
- ・給水弁は固定しているピンからはずさないでください。

■上蓋・吹出口

上蓋は吹出口をはずしてから水洗いし、柔らかい布で拭き取ります。

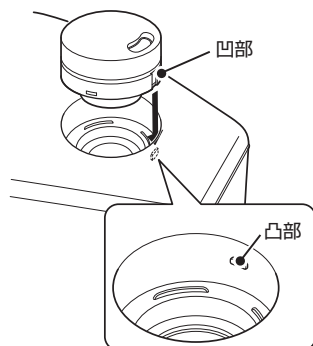
吹出口のはずしかた

- ①吹出口の開口部を上蓋の側面方向に合わせ、
- ②上に引き抜きます。



吹出口の取り付けかた

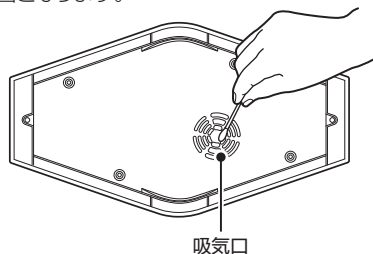
吹出口部の凹部を上蓋の凸部に合わせて差し込みます。



■吸気口

綿棒やお手持ちのブラシなどでほこりを取り除きます。

- ・吸気口にほこりがたまらないように定期的にお手入れしてください。吸気口にほこりがたまると霧が出にくくなったり、故障の原因となります。



お手入れのしかた

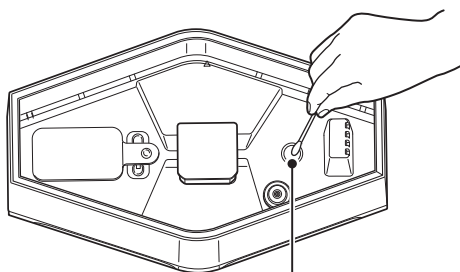
■振動子（霧化部）・水位センサー・ヒーター

1週間に1～2回以上の頻度でお手入れしてください。

●振動子（霧化部）

綿棒などを軽く当てて汚れを落とした後、柔らかい布で拭き取ります。

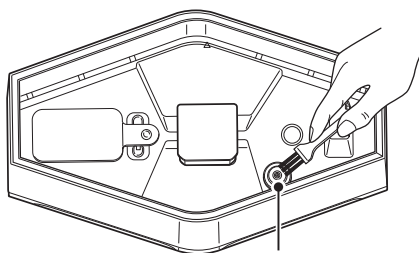
- ・振動子に直接触れたり、強く押ししたりしないでください。故障の原因となります。



振動子（霧化部）

●水位センサー

水位センサーの周りに付着している汚れやゴミなどをお手持ちのブラシなどで落とした後、柔らかい布で拭き取ります。

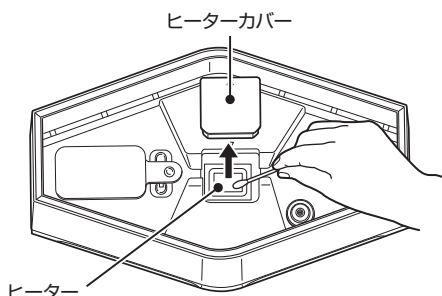
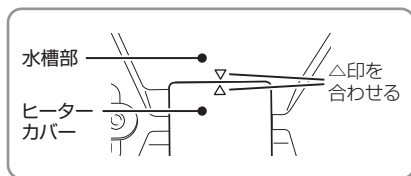


水位センサー

●ヒーター

ヒーターカバーをはずして、綿棒などを軽く当てて汚れを落とした後、柔らかい布で拭き取ります。

- ・お手入れ後はヒーターカバーと水槽部の△印を合わせてヒーターカバーを取り付けてください。



お願い

- 振動子の表面を金属ブラシや金属ヘラ、研磨剤入りのたわしやミガキ粉などで絶対にこすらないでください。

変形したり傷が付くと霧が出にくくなったり、故障の原因となります。

- 水位センサーは定期的にお手入れし、いつも清潔な状態にしてお使いください。

数日間お使いいただくと、水位センサーの周辺に水道水のミネラル成分が結晶（汚れ）となって付着してきます。このような状態のまま使い続けると、水位センサーが誤動作して振動子の故障の原因となります。

■抗菌カートリッジ

流水で水洗いし、やわらかい布で汚れを拭き取ります。

抗菌カートリッジは消耗部品です。約2年を目安に交換してください。(20ページ「消耗部品について」参照)

・交換カートリッジ内の抗菌粒はご使用にともない変色しますが、異常ではありません。

保管のしかた


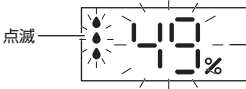
- お手入れした後、水分を拭き取り、よく陰干ししてください。
- よく陰干した後、本体内やタンクなどに残り水がないことを確認してください。
- 本体をポリ袋などで包み、元の梱包ケースなどに入れて、湿気の少ないところに保管してください。

⚠ 注意

- お手入れして、水分をよく乾燥させてから保管する。
汚れや水分が残ったまま長期間保管すると悪臭やカビなどが発生する原因となります。

修理を依頼される前に

「故障かな?」と思ったときは、次の点をお調べください。

| このようなとき | お調べいただくこと | 処置のしかた |
|-----------------|---|---|
| 霧が出ない | ●電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていますか? | 電源プラグをしっかり差し込んでください。 12ページ |
| | ●水がなくなっていないですか? | 水を補給してください。 10～11ページ |
| | ●[自動] 運転に設定していませんか? | [自動] 運転に設定時、湿度が60%に達すると自動で霧の噴霧を停止します。 12ページ |
| 霧の出が悪い | ●振動子の表面に水あかなどの汚れが付着していませんか? | 振動子をお手入れしてください。 17ページ |
| | ●本体底面の吸気口にほこりなどがたまっていませんか? | 吸気口をお手入れしてください。 16ページ |
| | ●カーペットなどの上に置いて、本体底面の吸気口を塞いでいませんか? | 正しく設置してください。 5ページ |
| | ●水を入れすぎではありませんか? | 給水は“MAX”の満水位置までにご覧ください。 10ページ |
| | ●冬場など室温や水温が低い場合、霧が見えにくいことがあります。 | 40℃以下のぬるま湯を水タンクに入れてください。 — |
| | ●運転を開始しても約30分間は霧の出る量が少ない場合があります。 ●室温・湿度・エアコンの気流などの使用環境により、霧が見えにくい場合があります。 | — |
| 水が漏れる 水が溢れる | ●水を入れすぎではありませんか? | 給水は“MAX”の満水位置までにご覧ください。 10ページ |
| | ●本体が傾いていませんか? | 正しく設置してください。 5ページ |
| | ●タンクと上蓋が正しく取り付けられていますか? | 正しく取り付けてください。 11ページ |
| 運転が 途中で止まる | ●ブザーが「ピッピッピッピ」と4回鳴って湿度表示が点滅した場合は、水がなくなっています。 | 水を補給してください。 10～11ページ |
| | ●ブザーが鳴りヒーターエラー表示が点滅し運転が停止する場合は、ヒーターが故障しています。  | お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。 — |
| | ●湿度表示とミスト表示が点滅し運転が停止する場合は、ファンが故障しています。  | お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。 — |
| 本体周辺が 水でぬれる | ●湿度が高い環境で使用した場合、過加湿となり本体周辺が水でぬれる場合があります。 | 5ページ |
| ブーンと音が する | ●本体内部のファンが回転する音です。 | 故障ではありません。 — |
| 水槽部の水が 白くにごる | ●抗菌カートリッジの成分が溶け出し白くにごることがあります。 | 異常ではありません。 — |

仕様

| | |
|----------|---|
| 電 源 | AC100V 50/60Hz共用 |
| 消 費 電 力 | 100W |
| 外 形 寸 法 | 約365 (幅) × 205 (奥行) × 320 (高さ) mm |
| 質 量 | 約3.1kg |
| 加 湿 量 | 強：約400ml/h、中：約200ml/h、弱：約100ml/h |
| 電源コードの長さ | 約1.8m |
| タンク容量 | 約3.2L |
| 連続加湿時間 | 約8時間 (強運転時) |
| 付 属 品 | リモコン、ボタン電池 (CR2025) × 1個、抗菌カートリッジ (タンク装着済み)、取扱説明書 (本書：保証書付) |

※加湿量・連続加湿時間は、室温20℃の場合です。

※加湿量・連続加湿時間は、室温や湿度環境、壁、床の材質、部屋の構造、使用している暖房機などの環境条件によって大幅に左右されますので目安としてください。

※本機の仕様および外観については、改良のため予告なく変更することがあります。

消耗部品について

消耗部品を依頼される場合には、お買い上げの販売店か、小泉成器株式会社「部品センター」にお問い合わせください。

| 名 称 | 型 番 |
|----------|---------|
| 抗菌カートリッジ | KHM-102 |

アフターサービスについて

1. 保証書

- この取扱説明書には保証書が付いています。

保証書はお買い上げの販売店で「販売店名・お買い上げ日」などの記入をご確認の上、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

2. 修理を依頼される時

- 保証期間中は

商品に保証書を添えてお買い上げの販売店にご持参ください。保証の記載内容により無料修理いたします。

- 保証期間が過ぎているときは

お買い上げの販売店にご相談ください。修理により使用できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。



3. 補修用性能部品の保有期間

- ハイブリッド式加湿器の補修用性能部品の保有期間は製造打切後6年です。

補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

4. アフターサービスについてご不明の場合

- アフターサービスについてご不明の場合には、お買い上げの販売店か、小泉成器株式会社「修理センター」にお問い合わせください。

| 愛情点検 | | ★長年ご使用のハイブリッド式加湿器の点検を! | |
|--|--|---|---|
|  | このような症状はありませんか |  | ご使用中 |
| | <ul style="list-style-type: none">●水漏れする。●電源コードを動かすと、途中で止まる。●運転中、異常に大きい音がしたり、激しく振動する。●本体が異常に熱かったり、こげくさいニオイがする。●その他の異常や故障がある。 | | このような症状のときは、故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて必ず販売店にご相談ください。 |

お客様の個人情報のお取り扱いについて

お受けしましたお客様の個人情報は当社個人情報保護方針に基づき適切に管理いたします。また、お客様の同意がない限り、業務委託をする場合および法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示は行いません。

〈利用目的〉

お受けしました個人情報は、商品・サービスに関わるご相談・お問い合わせおよび修理対応のみを目的として使用させていただきます。

なお、この目的のために小泉成器株式会社および関係会社で上記個人情報を利用することがあります。

〈業務委託の場合〉

上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を実施させるとともに適切な管理・監督をいたします。

保証・無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った**正常な使用状態で保証期間内に故障**した場合、「**無料修理**」致します。
2. 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には、**商品と本書をご持参ご提示の上、お買い上げの販売店にご依頼ください。**
3. **ご購入、ご購入品等**で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、取扱説明書の小泉成器株式会社「修理センター」へご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (イ) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
 - (ロ) お買い上げ後の落下等による故障および損傷。
 - (ハ) 火災、地震、落雷、水害、その他の天災地変、異常電圧による故障および損傷。
 - (ニ) 一般家庭用以外（例えば業務用の長時間使用、車輛、船舶への搭載）に使用された場合の故障および損傷。
 - (ホ) 本書のご提示がない場合。
 - (ヘ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えた場合。
5. 保証期間内でも商品を修理窓口へ送付された場合の送料はお客様の負担となります。
6. 本書は日本国内においてのみ有効です。Effective only in Japan.
7. 本書は再発行致しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店、または取扱説明書の小泉成器株式会社「修理センター」にお問い合わせください。

※保証期間経過後の修理について詳しくは取扱説明書の「アフターサービスについて」をご覧ください。

ハイブリッド式加湿器

保証書 持込修理

本書は、本書記載内容（裏面記載）で無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合は、本書をご提示の上、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

| | | | |
|----------|------------|--------------|---|
| 型番 | KHM-4022 | | |
| お買い上げ年月日 | 年 | 月 | 日 |
| 無料修理保証期間 | 対象部分 | 期間（お買い上げ日より） | |
| | 本体 | 1年 | |
| お客様 | お名前 | 様 | |
| | ご住所 | 〒 | |
| 販売店 | 店名・住所・電話番号 | | |



★販売店の皆様へのお願い 必ず全項目をご記入、ご捺印の上、お客様にお渡しください。
小泉成器株式会社 本社 〒541-0051 大阪府中央区備後町3丁目3番7号 TEL.06(6262)3561

お客様相談窓口

この商品に関するご意見・ご質問については下記へお寄せください。

ご意見・ご質問について

お客様相談窓口



ナビダイヤル
(全国共通番号)

0570 (07) 5555

■IP電話などからご利用いただけない場合

〒541-0051 大阪府中央区備後町3丁目3番7号 TEL.06(6262)3561 FAX.06(6268)1432

修理に関するお問い合わせ

東日本修理センター



ナビダイヤル
(全国共通番号)

0570 (05) 8888

■IP電話などからご利用いただけない場合

〒344-0127 埼玉県春日部市水角1190 TEL.048(718)3340 FAX.048(718)3350

西日本修理センター



ナビダイヤル
(全国共通番号)

0570 (05) 8888

■IP電話などからご利用いただけない場合

〒559-0033 大阪府住之江区南港中1丁目3番98号 TEL.06(6613)3145 FAX.06(6613)3196

部品に関するお問い合わせ

部品センター



ナビダイヤル
(全国共通番号)

0570 (00) 3211

■IP電話などからご利用いただけない場合

〒559-0033 大阪府住之江区南港中1丁目3番98号 TEL.06(6613)3211 FAX.06(6613)3299

小泉成器株式会社

〒541-0051 大阪府中央区備後町3丁目3番7号
TEL.06(6262)3561 FAX.06(6268)1432

受付時間：平日9:00~17:30
(土・日・祝日・夏期休暇・年末年始を除く)

2022年9月現在(所在地、電話番号などについては変更がある場合がありますので、その節はご容赦願います。)